

## 2) 働く女性のための保健医療サービスのあり方と問題点

分担担当者：飯塚 貞男、森山 郁子、  
佐藤 和雄

私達は現代の保健医療サービスに何か問題点がないかどうかを知る目的で、健康で働くことの可能な女性が、最も利用すると考えられる保健医療サービス機関である産婦人科と、子育て中に受診することの多い小児科と、その他の医療機関に分け、利用者である患者からみた問題点、および満足度について表1(問6)の如く調査表を作成し、調査致しました。さらに、急病時に患者側からみた医療機関の問題点を知るため表2(問7)のような調査表も加え、調査を行ないました。まず、表3に示すように、産婦人科、小児科、その他の医療機関をそれぞれ個人病院、公的病院、大学病院に分け、女性の仕事の有無によりその利用率を検討致しました。産婦人科の病院利用率は、全体から見ると大学病院531(46.6%)、公的病院332(29.1%)、次いで個人病院253(22.2%)となります。これを仕事の有無について見ると、仕事を持っている女性では、個人、公的、大学とあまりその利用率に差がないことがわかります。他方、仕事を持っていない女性では、大学病院の利用が403(70.5%)と多く、次いで、公的病院175(30.6%)、次いで個人病院113(19.8%)の順となります。

小児科の病院別利用率は、表4に示すように全体から見ると産婦人科とは異なり個人病院308(27.0%)が一番多く、次いで大学病院122(10.7%)、公的病院96(8.4%)の順となります。仕事の有無からみると、仕事を持っていない女性の方が個人病院、大学病院の利用率が多いことがわかります。

その他の医療機関では、表5に示すように個人病院277(24.3%)、公的病院172(15.1%)、大学病院94(8.2%)の順に利用され、特に各施設とも有意に仕事を持っている女性の利用率が高いことがわかります。平成6年1月3日の東京新聞に掲載された2069人の医療世論調査によると54.4%の人が、まず開業医に行くと答えているようです。今回の私達の調査によると産婦人科の利用率は大学病院、公的病院、個人病院の順になっている。この結果は、各々の科の疾患の特長も考慮する必要がありますと考えられますが、今回の調査対象の多くは産婦人科の大学病院と公的病院であったことも考慮しておくべきです。

満足度については、表6に示すように産婦人科、小児科、その他の医療機関に分け、科別満足度を不満1、やや不満2、どちらでもない3、やや満足4、満足5とした加重平均から検討致しました。産婦人科では、仕事の有無にかかわらず大学病院3.70、公的病院3.53、個人病院3.23の順に満足度が高いことがわかります。仕事を持っている女性の方が、持っていない人に比べ、各機関とも満足度が低いことがわかります。

小児科では表7に示すように、仕事の有無にかかわらず個人病院3.51、大学病院3.38、公的病院3.24の順に満足度の高いことがわかります。産婦人科と同様、仕事を持っている女性の方が、持っていない女性に比べ各機関とも満足度が低いことがわかります。なお、産婦人科、小児科とも満足度の傾向は各医療機関別の利用度の傾向と一致していることがわかります。

その他の医療機関についてみると表8に示すように、全体的に産婦人科や小児科より満足度が低く、特に仕事を持っている女性では公的病院2.82、大学病院2.98の満足度が低いことがわかります。しかし、仕事を持っていない女性はすべての機関において満足していることがわかります。仕事を持っている女性と持っていない女性の満足度の違いは、表14~表16で示すように「待ち時間」の問題が大きく関与していると考えられます。

次いで、555人の仕事を持っている女性を187人の未婚女性と、368人の既婚女性に分け、それぞれの保健医療機関での利用率を検討してみました。表9で示すように、産婦人科では、それぞれの機関において既婚者の利用率が有意に高いことがわかります。表10で示すように小児科でも同様に、各機関とも有職未婚女性に比べ、既婚者の利用率が有意に高いことがわかります。その他の医療機関では表11で示すように産婦人科、小児科とは逆に、未婚女性に比べて有職既婚者の利用率がそれぞれの機関で有意に高く、機関別利用度は個人、公的病院、大学病院の順に高いことがわかります。さらに、有職女性の就業形態から、それぞれの保健医療機関の利用率を検討致しました。表12で示すように、利用者の多い大学病院産婦人科、個人病院の小児科では時間的制約の少ないパート、アルバイト、自営業の人の利用率がフルタイムの有職女性より高いことがわかります。一方表13で示すように、その他の医療機関においては逆に有職

フルタイムの女性の利用率が有意に高いことがわかります。

次いで利用者の不満について産婦人科、小児科、その他の医療機関をそれぞれ個人病院、公的病院、大学病院に分けて検討致しました。表14に示すように、産婦人科においてはすべての機関において、待ち時間が長いという不満が多く、公的病院、大学病院では90%以上の人待ち時間が長いという不満を持っています。価格については、個人病院43 (32.6%)、大学病院104 (24.2%)、内容については個人病院32 (24.2%) に不満を持っているようです。小児科においても表15に示すように、産婦人科と同様、待ち時間が長いという不満が多く、価格および内容においても同様な傾向があります。全体的にみると大学病院、公的病院は遠く、個人病院に比べて待ち時間も長いですが内容については不満を持っている人は少ない。また、個人病院は大学病院、公的病院に比べ、内容、価格にやや不満を持っている人が多いことがわかります。平成5年12月に行なわれた医療世論調査での“待ち時間”は1時間以内と答える人が73.4%となっておりますが、実際、我々の産婦人科では1時間以上の待ち時間が必要です。いずれにせよ待ち時間の不満が最も多く、その対応が必要であると考えております。表16に示すように利用者の不満はその他の医療機関においても産婦人科、小児科と同様の傾向がみられます。

急病の経験についてみると、表17に示すように未婚女性に比べて子供や老人の数の多い有職既婚女性に有意に急病の経験が多いことがわかります。表18で示すように有職既婚女性で、パートや自営業の人に急病の経験が有意に多いことがわかります。この結果からパートや自営業の既婚女性の病気に対する平常生活時の対応に問題があるのではないかと推測されます。

表19で示すように小児科で最も利用者の多い個人病院での待ち時間についてみると、同じ診療に

対し時間の制約が多い仕事を持っている女性の方が、仕事持っていない女性より不満が多いことがわかります。

急病時の交通手段についてみると、表20に示すように有職既婚女性に比べ、有職、フルタイム、単身世帯の女性の多い未婚女性に急病時に交通手段がなく困った者が有意に多いことが分かります。この結果より、有職単身女性の急病時の交通手段確保への対応が望まれます。

## まとめ

- ①産婦人科では大学病院の利用者が最も多い。なかでも仕事を持っていない女性が大学病院の産婦人科を多く利用している。
- ②小児科では個人病院の利用率が最も高い。仕事を持っていない女性の方が個人病院や大学病院を多く利用している。
- ③その他の医療機関では、個人病院、公的病院、大学病院の順に利用され、特に仕事を持っている女性の利用率が高い。しかし加重平均からみた仕事を持っている女性の満足度は、公的病院 (2.82) 大学病院 (2.98) と低い。
- ④産婦人科における病院別満足度は、大学病院が一番高く次いで公的病院、個人病院の順となっている。この傾向は病院の利用度と一致している。
- ⑤小児科における病院別満足度は個人病院が一番高く次いで大学病院、公的病院の順となっている。この傾向は病院の利用度と一致している。
- ⑥大学病院、公的病院は遠く個人病院に比べて待ち時間は長いとの不満は多いが、内容については不満を持っている人は少ない。
- ⑦個人病院は大学病院、公的病院に比べ、内容、価格にやや不満を持っている人が多い。
- ⑧有職既婚女性でパート・自営業の人に急病人の経験が有意に多い。
- ⑨有職未婚女性は既婚者に比べ、急病時交通手段がなく困っているものが多い。

表1

問6. あなたの受けている、または受けていた医療サービスについてお答え下さい。

利用しているものの( ) に○をつけてください		利用した施設やサービスの 満足度であてはまるものを ○で囲んでください					あてはまることがあれば、 そこを○で囲んでください			
		不 満	やや 不満	どちら でもない	やや 満足	満 足	遠 い	待ち 時間が 長い	内容 が悪い	価格 が高い
( )	産婦人科 個人病院	1	2	3	4	5	1	2	3	4
( )	" 公的病院	1	2	3	4	5	1	2	3	4
( )	" 大学病院	1	2	3	4	5	1	2	3	4
( )	小児科 個人病院	1	2	3	4	5	1	2	3	4
( )	" 公的病院	1	2	3	4	5	1	2	3	4
( )	" 大学病院	1	2	3	4	5	1	2	3	4
( )	その他 個人病院	1	2	3	4	5	1	2	3	4
( )	" 公的病院	1	2	3	4	5	1	2	3	4
( )	" 大学病院	1	2	3	4	5	1	2	3	4
( )	保健所	1	2	3	4	5	1	2	3	4

表2

問7. あなたは、あなたのお子さんやご家族が急病になった時に次のような経験がありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. はい	2. いいえ
-------	--------

↓

1. 病院をタライ回しにされた。 2. 病院の医師や看護婦から迷惑がられた。 3. 病院の待合室で長時間待たされた。 4. 病院の中でいろいろな科に回された。 5. 病院に電話をかけたのに担当医がいないと断られた。 6. 病院に行くのに交通手段がなくて困った。 7. 救急車を呼んでもなかなか来なかった。 8. 病院に連れて行けなくてそのまま様子をみた。 9. その他 ( )
--

表3

## 医療サービス・病院別利用度（産婦人科）

(仕事の有無)

	産婦人科 個人病院	産婦人科 公的病院	産婦人科 大学病院	
全体	253 (22.2)	332 (29.1)	531 (46.6)	1140 (100.0)
仕事を持っている人	140 (24.6)	157 (27.6)	128 (22.5)	568 (49.8)
仕事を持っていない人	113 (19.8)	175 (30.6)	403 <sup>※</sup> (70.5)	572 (50.2)

P &lt; 0.0001

( ) = %

表4

## 医療サービス・病院別利用度（小児科）

(仕事の有無)

	小児科 個人病院	小児科 公的病院	小児科 大学病院	
全体	308 (27.0)	96 (8.4)	122 (10.7)	1140 (100.0)
仕事を持っている人	134 (23.6)	55 (9.7)	39 (6.9)	568 (49.8)
仕事を持っていない人	174 <sup>※</sup> (30.4)	41 (7.2)	83 <sup>※</sup> (14.5)	572 (50.2)

P &lt; 0.02

( ) = %

表5

## 医療サービス・病院別利用度（その他の医療機関）

(仕事の有無)

	その他 個人病院	その他 公的病院	その他 大学病院	
全体	277 (24.3)	172 (15.1)	94 (8.2)	1140 (100.0)
仕事を持っている人	208 <sup>※</sup> (36.6)	151 <sup>※</sup> (26.6)	61 <sup>※</sup> (10.7)	568 (49.8)
仕事を持っていない人	69 (12.1)	21 (3.7)	33 (5.8)	572 (50.2)

P &lt; 0.004

( ) = %

表6 医療サービス・病院別満足度（産婦人科）  
(仕事の有無)

	産婦人科 個人病院	産婦人科 公的病院	産婦人科 大学病院
全 体	3.23 (241)	3.53 (318)	3.70 (507)
仕事を持って いる人	3.18 (134)	3.39 (417)	3.59 (123)
仕事を持って いない人	3.30 (107)	3.66 (171)	3.74 (384)

加重平均値  
( ) = N

表7 医療サービス・病院別満足度（小児科）  
(仕事の有無)

	小児科 個人病院	小児科 公的病院	小児科 大学病院
全 体	3.51 (290)	3.24 (79)	3.38 (105)
仕事を持って いる人	3.43 (128)	3.23 (44)	3.30 (33)
仕事を持って いない人	3.57 (162)	3.26 (35)	3.42 (72)

加重平均値  
( ) = N

表8 医療サービス・病院別満足度（その他の医療機関）  
(仕事の有無)

	その他 個人病院	その他 公的病院	その他 大学病院
全体	3.29 (259)	2.89 (155)	3.06 (83)
仕事を持って いる人	3.23 (196)	2.82 (137)	2.98 (54)
仕事を持って いない人	3.43 (63)	3.39 (18)	3.21 (29)

加重平均値  
( ) = N

表9 医療サービス・病院別利用度（産婦人科）

(有職・婚姻の有無)

	産婦人科 個人病院	産婦人科 公的病院	産婦人科 大学病院	
全体	137 (24.7)	149 (26.8)	125 (22.5)	555 (100.0)
未婚	17 (9.1)	21 (11.2)	4 (2.1)	187 (33.7)
既婚	※ 120 (32.6)	※ 128 (34.8)	※ 121 (32.9)	368 (66.3)

P < 0.0001  
( ) = %

表10 医療サービス・病院別利用度（小児科）

(有職・婚姻の有無)

	小児科 個人病院	小児科 公的病院	小児科 大学病院	
全体	129 (23.2)	53 (9.5)	38 (6.8)	555 (100.0)
未婚	7 (3.7)	4 (2.1)	3 (1.6)	187 (33.7)
既婚	※ 122 (33.2)	※ 49 (13.3)	※ 35 (9.5)	368 (66.3)

P < 0.0001  
( ) = %

表11 医療サービス・病院別利用度（その他の医療機関）

(有職・婚姻の有無)

	その他 個人病院	その他 公的病院	その他 大学病院	
全体	206 (37.1)	148 (26.7)	58 (10.5)	555 (100.0)
未婚	※ 114 (61.0)	※ 89 (47.6)	※ 35 (18.7)	187 (33.7)
既婚	92 (25.0)	59 (16.0)	23 (6.3)	368 (66.3)

P < 0.0001  
( ) = %

表12 医療サービス・病院別利用度（産婦人科・小児科）  
（就業形態）

	産婦人科 大学病院	産婦人科 個人病院	小児科 個人病院	
全 体	120 (22.4)	129 (24.1)	124 (23.2)	535 (100.0)
フルタイム	85 (18.2)	107 (22.9)	93 (19.9)	468 (87.5)
パート アルバイト	※ 11 (33.3)	※ 14 (42.4)	※ 17 (51.5)	33 (6.2)
自営業	※ 24 (70.6)	8 (23.5)	※ 14 (41.2)	34 (6.4)

P < 0.04  
( ) = %

表13 医療サービス・病院別満足度（その他の医療機関）  
（就業形態）

	その他 個人病院	その他 公的病院	
全 体	201 (37.6)	146 (27.3)	535 (100.0)
フルタイム	※ 188 (40.2)	※ 141 (30.1)	468 (87.5)
パート アルバイト	7 (21.2)	4 (12.1)	33 (6.2)
自営業	6 (17.6)	1 (2.9)	34 (6.4)

P < 0.05  
( ) = %

表14 医療サービス・利用者の不満（産婦人科）

	遠い	待ち時間が長い	内容が悪い	価格が高い
個人病院	14 (10.6)	68 (51.5)	32 (24.2)	43 (32.6)
公的病院	51 (19.5)	236 (90.4)	15 (5.7)	5 (1.9)
大学病院	67 (15.6)	394 (91.8)	10 (2.3)	104 (24.2)

( ) = %

表 15

## 医療サービス・利用者の不満（小児科）

	遠い	待ち時間が長い	内容が悪い	価格が高い
個人病院	27 (25.5)	57 (53.8)	24 (22.6)	14 (13.2)
公的病院	17 (25.4)	58 (86.6)	4 (6.0)	0 (0.0)
大学病院	16 (17.4)	88 (95.7)	2 (2.2)	5 (5.4)

( ) = %

表 16

## 医療サービス・利用者の不満（その他の医療機関）

	遠い	待ち時間が長い	内容が悪い	価格が高い
個人病院	19 (15.7)	68 (56.2)	36 (29.8)	16 (13.2)
公的病院	49 (38.6)	105 (82.7)	13 (10.2)	0 (0.0)
大学病院	19 (25.7)	68 (91.9)	4 (5.4)	3 (4.1)

( ) = %

表 17

## 医療サービス・利用者の経験（急病人）

（有職・婚姻の有無）

	はい	いいえ	
全 体	169 (23.1)	562 (76.9)	731 (100.0)
未 婚	53 (16.4)	271 (83.6)	324 (44.3)
既 婚	116 <sup>※</sup> (28.5)	291 (71.5)	407 (55.7)

P &lt; 0.0002

( ) = %



表18

## 医療サービス・利用者の経験（急病人）

（有職・職業形態）

	はい	いいえ	
全 体	162 (22.8)	548 (77.2)	710 (100.0)
フルタイム	138 (21.4)	506 (78.6)	644 (90.7)
パートアルバイト	※ 12 (36.4)	21 (63.6)	33 (4.6)
自 営 業	※ 12 (36.4)	21 (63.6)	33 (4.6)

P &lt; 0.03

( ) = %

表19

## 医療サービス・利用者の不満（小児科個人病院）〔待ち時間が長い〕

（仕事の有無）

	はい	いいえ	
全 体	43 (53.8)	37 (46.3)	80 (100.0)
仕事を持って いる人	※ 34 (63.0)	20 (37.0)	54 (67.5)
仕事を持って いない人	9 (34.6)	17 (65.4)	26 (32.5)

P &lt; 0.03

( ) = %

表20

## 医療サービス・利用者の不満（急病時、交通手段がなく困った）

（有職・婚姻有無）

	はい	いいえ	
全 体	23 (13.9)	142 (86.1)	165 (100.0)
未 婚	※ 12 (22.6)	41 (77.4)	53 (32.1)
既 婚	11 (9.8)	101 (90.2)	112 (67.9)

P &lt; 0.05

( ) = %

## 医療世論調査の結果

資料：東京新聞 平成6年1月3日（日刊）掲載より

問1 病気と医療の問題についてお尋ねします。ただし、歯の治療は除きます。まず最初に医師は患者の信頼にこたえていると思いますか、そうは思いませんか。

信頼にこたえている	28.0
信頼にこたえていない	13.1
一口には言えない	57.5
分からない・無回答	1.4

問2 あなたはこの1年間で何日くらい通院、または入院しましたか。

医者にかかったことはない	23.9
1-5日	31.9
6-10日	12.1
10日以上	18.1
長期間継続してかかっている（入院を含む）	13.3
分からない・無回答	0.7

問3 病気になったとき、まず開業医へ行きますか、それとも最初から大病院・総合病院へ行きますか。

まず開業医へ行く	54.4
最初から大病院・総合病院へ行く	21.7
病気の症状によって替えている	23.0
その他	0.3
分からない・無回答	0.6

問4（問3で「最初から大病院・総合病院へ行く」と答えた人に聞く）最初から大病院・総合病院に行く理由は何ですか。次の中から一つだけお答えください。

大病院・総合病院は安心だから	58.0
近くに大病院・総合病院があるから	26.9
かかりつけの医師がいるから	12.0
その他	2.7
分からない・無回答	0.4

問5 病院や医院についてから診察を受けるまでの待ち時間は、いつも大体どのくらいですか。

30分以内	31.9
30分-1時間	41.5
1時間-2時間	18.6
2時間以上	5.2
分からない・無回答	2.8

問6 診察時間はいつも大体どのくらいですか（採血やレントゲンなどの検査時間を除く）。

2、3分	24.5
5分くらい	41.7
5分-10分	24.3
10分以上	5.8
分からない・無回答	3.7

問7 あなたは、病気の治療中に医師や病院を替えようと思ったり、実際に替えたことはありますか。

替えたことがある	31.5
替えようと思ったことはあるが実際に替えたことはない	21.3
替えようと思ったことはない	44.7
分からない・無回答	2.5

問8（問7で「替えたことがある」「替えようと思ったことはあるが、実際に替えたことはない」と答えた人に聞く）医師や病院を替えようと思った理由は何ですか。次の中から1つだけお答えください。

診療の内容や治療、検査の方法に不満、不信があるから	55.9
医師、看護婦などへの不満、不信があるから	13.0
通院が不便だから	12.5
他の医師、病院を紹介されたから	14.8
その他	2.7
分からない・無回答	1.1

問9 治療や検査、薬などについて医師から十分な説明を受けていますか。次の中から1つだけお答え下さい。

ほとんど説明を受けていない	15.6
説明はないが質問には答えてくれる	28.5
説明はあるが、十分ではない	24.2
説明を十分受けている	24.9

医師に任せているので説明はいらない  
4.9

分からない・無回答	1.9
問10 あなたは、医師に何についての説明を受けたいですか。次の中から2つまでお答えください。	
病状	61.0
治療の方法と見通し	59.5
検査の意味と方法	20.4
薬の効果や副作用	44.3
その他	0.8
分からない・無回答	1.9

問11 あなたやあなたの周りの方で医師の診断に疑問を感じたことがありますか。あるいは、処方された薬が効かなかったり、症状が悪くなったと感じたことはありますか。

診断に疑問を感じたことがある  
25.2

薬が効かなかったり、かえって悪くなったと感じたことがある	11.1
両方の場合がある	13.8
そういうことはない	47.9
分からない・無回答	2.0
(注) 複数回答では、比率の合計は100%を超える。	

▽調査の方法＝調査は層化二段無作為抽出法により、約9000万人の有権者の縮図となるように全国250地点から20歳以上の男女3000人を選び、昨年12月11、12の両日、調査員が調査対象者にそれぞれ直接面接して答えてもらった。転居、旅行などで会えなかった人を除き、2069人から回答を得た。回収率は69.0%で、回答者の内訳は男性46.8%、女性53.2%だった。



## 検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用

論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



### まとめ

産婦人科では大学病院の利用者が最も多い。なかでも仕事を持っていない女性が大学病院の産婦人科を多く利用している。

小児科では個人病院の利用率が最も高い。仕事を持っていない女性の方が個人病院や大学病院を多く利用している。

その他の医療機関では、個人病院、公的病院、大学病院の順に利用され、特に仕事を持っている女性の利用率が高い。しかし加重平均からみた仕事を持っている女性の満足度は、公的病院(2.82)大学病院(2.98)と低い。

産婦人科における病院別満足度は、大学病院が一番高く次いで公的病院、個人病院の順となっている。この傾向は病院の利用度と一致している。

小児科における病院別満足度は個人病院が一番高く次いで大学病院、公的病院の順となっている。この傾向は病院の利用度と一致している。

大学病院、公的病院は遠く個人病院に比べて待ち時間は長いとの不満は多いが、内容については不満を持っている人は少ない。

個人病院は大学病院、公的病院に比べ、内容、価格にやや不満を持っている人が多い。

有職既婚女性でパート・自営業の人に急病人の経験が有意に多い。

有職未婚女性は既婚者に比べ、急病時交通手段がなく困っているものが多い。